



千葉農場より

冬季間の早魃と寒風、雨期が五月中旬から始まった今年の天候は全国的に不良で、長雨の被害は各地で甚大の由で、心からお見舞い申し上げたいと思います。

当場もその例に洩れず、最近にないご難続きですが、一同張切って業務に励んでいます。

長雨と低温のため、家畜ビート、テオシントの生長が鈍いし、一般作物も概して作況不振ですが、牧草類だけは夏枯れの被害が少いのは、せめてもの幸福です。
冬以来の低温と多雨という異常天候で得た教訓は――

(一) 土地を良く肥やしておけば、自然の災害に抵抗力があること。酪農家の畑と無家畜農家の畑を比較してみると、あの悪条件の中で、酪農家の麦は青々として繁茂し、同じ条件と思われる隣の無家畜農家の麦は寒風に吹き飛ばされて無惨な姿をさらしており、天は頗る公平であると思われれます。

(二) 夏枯れに弱く暖地では利用されないチモンシは、今年はオーチャードより低温多湿の悪条件に耐え、冬枯れは殆どありません。

(三) イタリアンライグラスは、ペレニアルライグラスより、この悪条件に強いようです。

(四) コンモンベッチは、当然寒地向きのヘアリーベッチに比較して弱い。

(五) えん麦類も品種間の差がはっきりと越冬性に現われました。即ち雪印一〇一号、岡山黒、豊葉等は大豊、前進、ビクトリーに勝ちました。

(六) まめ科牧草では、ルーサンは断然この悪条件に強く、次いでクリムソックロバー、赤クロバー、ラデノクロバー、パーシムクロバーの順に低温多雨の害をうけました。

これらの現象は、八〇年来といわれる冬の寒さや多雨が重なったためであるが、他地区の状態と併せて今後のため検討してみたいと思っています。

五月中旬まきのテオシントは、例年は第一回刈取期七月中下旬ですが、今年は八月に入らないと刈取り出来ません。しかし今後の気温上昇で急激に伸長するものと期待しています。

春播の家畜ビートは、長雨のために発育不振で例年の三割減と思われます。デントコーンは、この四〜五日の気温上昇で急速に伸長しはじめ、例年に近い成績と思われます。下総かぶの採種は極端に悪く、今後の需給について心配しています。ソルゴー

は、雪印ハイブリッドが例年より草丈が伸びないので心配しましたが、先日調査の結果、第一回刈取りで六、〇〇〇キ以上あり、ニューソルゴーに勝っていること例年の通りであり、黒皮種の収量もよかったので一息ついた次第です。新規試験中のソルゴーに初期生長の素晴らしいものが一系統あり、更に刈取りを進め、再生力を検討してから発表したいものと考えています。

夏期アルバイトの学生や短期研修生、更にまた農閑期に入って、視察者も増加し、地平線に湧く白い積乱雲の異様な変化等を観察する暇もありませんが、二〜三年来、水の涸れていた裏の長沼も今年は水が溜り、早朝より鴨類が群れ遊び、夜は食用蛙の太い声が騒しい。白さがたくさんやって来て、放牧場で乳牛と遊んでおり、すがすがしい夏の農場の風景の一コマもあることをご報告して筆をおくことといたします。(一九六三、七、三〇 安孫子)

藤の沢農場より

今年も間もなく、苗木の植付時期が近づいてまいりました。良い苗木を適切に定植することこそ、果樹栽培成功の主因です。

では、今年の苗木の育成状況を簡単にお知らせして、藤の沢農場だよりといたします。

弊社の苗木育成は札幌市郊外の藤の沢で実施しております。今春、リンゴ苗は旭、レッドゴールドを中心に約三万本、千両を中心とする梨苗木が約一万本、その他、梅、

桜桃など約三千本、合計四万三千本を接木いたしました。

ご承知のとおり、五月上旬より下旬までの早天続きのため、活着状態が懸念されましたが、その後雨に恵まれ、苗木は全般的に例年以上に良く生育しております。またブドウの二年苗も活着良好で、今秋には優良な苗木を皆様にお届けできると確信いたしております。

藤の沢農場は、定山溪鉄道線、藤の沢駅下車、徒歩で約五分の所です。ご来札の節は、交通の便利な所ですので、是非お立寄りの上、苗木の育成状況をご覧下さい。

新しい酪農経営設計のために豊かな酪農を築いていただくために
全酪農家 指導者の必携書

雪印の酪農関係良書

飼料作物栽培の手引

B 六判一〇〇頁 定価(送料共) 一〇〇円

草地改良 ― 着眼と事例 ―

B 六判一五〇頁 定価(送料共) 一五〇円

飼料作物と牧草のとりに入れ方

B 六判 八五頁 定価(送料共) 六〇円

西南暖地向飼料作物の便覧

(広島大学 黒住久弥著)

B 五判 四〇頁 定価(送料共) 五〇円

飼料作物の種子見本帳

定価(送料共) 二〇〇円